



JAMCA ニュース

No.124

2025年1月1日

発行
協会事務局

編集事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町 31
ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
ホームページアドレス <https://www.jamca.jp/>

コロナ禍が今後の教育に与える影響と我々がすべきこと

岡山自動車大学校 副理事長／校長
全国自動車大学校・整備専門学校協会 理事

原田 公徳



令和7年を迎え、新年のお慶びを申し上げます。昨年は広報委員会作成・高校生向けのJAMCA PRチラシ配布へのご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。「自動車整備士は国民の生命と安全を守る国家資格である」JAMCA会員校共通メッセージと共にJAMCA各委員会の活動を、高校生に親しみやすいキャラクターと共にキャッチーに紹介しています。是非有効にご活用頂き、JAMCA会員校へ入学することのメリットを流布して頂ければと思います。

今回初めてJAMCA NEWS論説を担当させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

この原稿を執筆中（10月～11月）ちょうど令和7年度入学者の出願書類が出そろったのでチェックをしていますと、全体的に欠席日数が多いと感じました。そこで統計してみると、高校3年間で30日以上欠席した出願者の比率が実に15.5%にも上りました。それ以前の5年間での平均は2.4%なので明らかに今年度増加しています。

11月1日付けの日経新聞に「小中の不登校最多34万人」という記事を見ました。文科省が実施した2023年度の「問題行動不登校調査」において過去最多を更新したと言う内容です。不登校の定義は年間30日以上欠席日数を数える児童

生徒を指し、増加の要因としてコロナ禍による生活の乱れ、無理に通学させる必要はないとする価値観の広がりが見られています。令和7年度入学生は中学2年から高校1年生の間がコロナ禍となっており、同様の影響が考えられるのではないのでしょうか。今後7年間は出願者の欠席状況へのコロナ禍の影響があると推測できます。

また、9月16日にAmazonが従業員に週五日出社の義務付けを発表し衝撃を与えました。アンディ・ジャシー CEO は、この決定について「私たちは新型コロナ拡大前のように、オフィスに戻ることを決めた。社員の学習や連携、企業文化の強化などを容易にするためだ」と説明しています。

本校でも一昨年度より海外研修旅行を再開することが出来ました。4年間コロナ禍により中止となり、全ての学校行事、また授業にも大きな影響を与え、学生にとって貴重な学校生

活が大変不自由なものとなったのはまだ記憶に新しいと思います。海外研修旅行を始め様々な学校行事・授業が再開、正常化される中で、学生同士が接する重要性、空間を共有し学ぶことの大切さを再確認しました。

JAMCA 会員校は国土交通省認可の自動車整備士一種養成施設であり、定められた学科、実習時間数を履修することによって、実技試験が免除されます。それ故に入学した学生の夢の実現、「国民の生命と安全を守る国家資格」の知識・技術を取得させることが教育機関としての使命であります。コロナ禍の影響そして教育への社会・家庭の価値観の変化に対しても、ぶれることなくその使命を達成していかななくてはなりません。何をすべきなのか？学校にとっても、学生にとっても、根底に必要なのは規範意識であり、まさにスタートを切ったJAMCAコンプライアンス教育にその答えがあると思います。

CONTENTS

- 2面 自動車の新たな魅力を発信する
東京オートサロン!
- 3面 クルマ大好き!、活躍!! 卒業生
- 4面・5面 二級自動車整備士(総合)
変更内容一覧
- 6面・7面 協会トピックス・
アイドルタイム・地区通信
- 8面 私の教材活用・編集後記